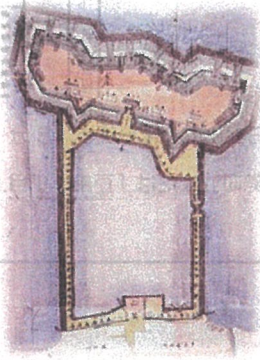


野毛山ものがたり館 第11回えんがわ茶論

2026年11月14日(土) 14:00~16:00

開港の歴史を未来へ！

幕末に勝海舟の設計で築造された横浜開港のシンボル「神奈川台場」。
今は土の下に眠る「神奈川台場」の歴史的価値と魅力を伝え続ける
山本博士さんによる徹底解説！ 乞うご期待！！



野毛山ものがたり館（旧川本邸）は、昭和初期に建てられた美しい数寄屋造りの古民家です。
ここを舞台に、日本古来の文化や暮らしの一コマを楽しみ、学びあう文化サロンを開催します。
多くのみなさんのお越しをお待ちしております。

野毛山ものがたり館館長 宮本 裕子

第11回えんがわ茶論（さろん）

講話 「開港の記憶を未来へ
～神奈川台場の歴史継承とデジタル活用～」

講師：三陽物産代表取締役/宮川香山 眞葛ミュージアム館長
山本博士

※薄茶とお菓子を召し上がっていただきます。

日時：2026年11月14日(土) 14:00~16:00（開場：13:30）

会場：野毛山ものがたり館（旧川本邸）国登録有形文化財

横浜市西区西戸部町1丁目13番地 ※裏面の地図をご覧ください。

（電車：JR桜木町駅から徒歩14分、京急日ノ出町駅より徒歩13分）

参加費：2,000円

定員：30名（事前申込制）

主催：野毛山ものがたり館運営協議会

お申込み：<https://forms.gle/8nx2bm3hTuzsqkjb6>

お問い合わせ：nogeyamamonogatarikan@gmail.com



こちらのQRコードからも

お申し込みください。→



《野毛山ものがたり館(旧川本邸)とは?》



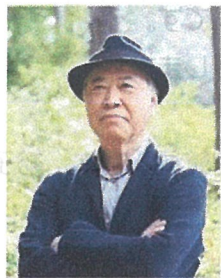
野毛山ものがたり館HP

明治期より横浜の財界の重鎮が邸宅を営んだ野毛山に昭和 8 年、川本祐蔵氏により建設された近代和風住宅。2024 年に国登録有形文化財になりました。京浜電気鉄道(現・京浜急行電鉄)の野毛山トンネル建設で川本家が用地を提供し、工事完了後に地上権を得て、現住宅を建設。この建物を保存して地域文化を発信するまちづくり拠点として活用することになりました。



電車：JR 桜木町駅から徒歩 14 分、京急日ノ出町駅より徒歩 13 分
バス：横浜駅より市営バス 103 系統「伊勢町」または「戸部 1 丁目」で下車、徒歩 5 分

《えんがわ茶論 主催者》



杉本 洋文

(株)計画・環境建築代表取締役会長
元東海大学教授。国交省「官庁施設における木造耐火建築物の整備手法の検討会」、林野庁「森林研究所講師」、「アーバンデザインセンター小田原：UDCOD センター長」、「NPO 木の建築フォーラム代表理事」などを歴任。木造を中心に建築作品を発表、全国各地で地域資源を活かしたまちづくり、NPO アーバンデザイン研究体理事長として都市研究に取り組み、市町村の都市計画審議会委員などの業績多数。



市川 千里

(株)花升木工社寺建築女将
特定非営利活動法人 宮大工木造技術継承協会事務局長
宮大工女将として 20 年。様々な宮大工を傍らで見守り続け、寡黙な職人たちの一言一言を大切に記憶。その奥深さに感動が深まる日々。尊い日本の存在を世界に伝える「職人の代弁、通訳」を日本で唯一かつて出ている。
職人応援団団長



宮本 裕子

匠応援コーディネーター
大学卒業後、ファッション関係の仕事でパリに駐在。帰国後、15 年間、専業主婦として過ごし、40代で大学院でアートマネジメントを学ぶ。アートコンサル会社勤務を経て、横浜市に入庁。2025年に定年退職。伝統工芸の衰退、文化財の消滅などに危機感を持ち、匠と異業種の掛け合わせにより新しい価値を創ることを目指す。
裏千家茶道準教授。
(宗名：宮本宗裕)